

ちくごきた

学校通信 (No. 8)
令和5年11月28日
筑後市立筑後北小学校
(文責 校長 松尾 泰弘)
通巻 788号

令和5年度重点目標：思いや考えを伝え合う子どもの育成
合い言葉：「アイデアと心を合わせて」

北風が吹き始め、いよいよ冬到来を感じる時期となりました。2学期も残り1ヶ月になりましたが、子ども達は、寒さにも負けず、力を合わせて、勉強や遊びを頑張っています。

修学旅行



11月20日(月)～21日(火)6年生は修学旅行に行ってきました。1日目は、平和や命の大切さを考える学習でした。実際に見て、聞いて、感じた体験は、平和を守ろうとする意識を高めたり、心を豊かにしたりすることにつながったと思います。また、夜は展望台に行き、美しい長崎市街地の夜景をしっかりと目に焼き付けました。2日目は長崎の歴史と文化について班別学習を行いました。みんなで協力しながら活動することができ、全員無事に大浦天主堂前に集合することができました。

2日間の6年生の姿から、大変頼もしさを感じました。3月の卒業式までにさらに成長して、中学校へ巣立って欲しいと思います。



出発式(1日目)



原爆資料館見学(1日目)



フィールドワーク(1日目)



平和集会(1日目)



夕食(1日目)



班別行動(2日目)

青少年健全育成のための意見発表会

11月5日(日)サザンクス大ホールにおいて「青少年健全育成のための意見発表会」が開催されました。市内11小学校、3中学校から代表児童生徒がステージの上で意見発表をしました。本校からは、6年1組の中村優李さんが代表として意見発表してくれました。自分の言葉を会場の人たち一人ひとりに届けるように、丁寧に発表してくれました。全文を紹介します。



意見発表の様子

五十三歳の卒業証書

六年一組 中村 優李

私は、今年の夏休み質問教室に参加し、五十三歳の卒業証書という本の話を読みました。最初に先生に読んでもらった時、五十三歳の卒業証書という題名を聞いて「どうして五十三歳で卒業証書なんだろう?」と疑問に思いました。

この本にでてくる人は、「とし子さん」という人でした。夏休みの質問教室を通して、なぜとしさんは、五十三歳で卒業証書を読んだのかをみんなで考えていきました。

最初としさんの、小学校時代の勉強しました。としさんは、小学校には一年間しか行っておらず、二年生からおうちの人を手伝って働き始めたそうです。そのせいで、小学校や中学校で卒業証書を読まることができなかったそうです。そこには、学校で嫌な思いをしたことや差別が関係していたことを知り、私はびっくりしました。

大人になって、としさんは、家事をしながら、仕事もしていく中で、ある青年と出会い、その青年に文字を覚えてもらうようになったそうです。一つのことを決心します。それは定時制高校にはいり、もう一度勉強をしようということでした。

しかし、それは簡単なことではありませんでした。「年が違う友達と仲良くできるだろうか。」や「十数年ぶりに学校に行っても、勉強についていけるだろうか。」などの不安がたくさんあったそうです。それでも「勉強をしたい。」という強い思いで学校に行くことにしたそうです。実際は、学校で、たくさんの仲間ができて、楽しく学ぶことができ、見事五十三歳で卒業証書を読まることができたということが分かりました。

人権学習の最後で、としさん本人から直接話を聞くことができました。今、としさんは、福祉館で支部長さんとして働いてあります。としさんの生き方を勉強したり、話を聞いたりして、私の学んだことが三つあります。

一つ目は、「いろんなことにもくじけずに立ち向かうこと」です。としさんの人生にはたくさん大変なことがありました。自分の責任ではない差別に苦しむことがたくさんあったと学びました。私も、今まで、悲しいことや苦しかったことがいくつもありました。今までは、その悲しかったことや苦しかったときに、としさんのように立ち向かうことをせずに、逃げたり、知らないふりをしたりして過ごしてきました。しかし、としさんの生き方に触れ、これから、もし自分に悲しいこと苦しいことがあっても、逃げずに立ち向かいたいです。

二つ目は、「友達を大切にすること」です。としさんには定時制高校でたくさんの仲間がいました。その仲間がとしさんを支え、一緒にがんばったことで卒業することができたことと学びました。私にもたくさんの友達がいます。筑後北小で共に過ごし、支え、高め合ってきた大切な友達です。あと少しで、私たちは中学生になります。たとえ、ちがう進路につこうとも、共に支え、高め合うことは、これからも続けていきたいです。すべての出会いに感謝できる人に私はなりたいです。

三つ目は、「今、勉強をすることの大切さ」です。私は、この本を読んで学習をするまで、学校で勉強できることは当たり前だと思っていました。でも、それは当たり前ではなく、勉強をしたくてもできない人がいることを初めて知りました。この夏休み質問教室の最終日にとしさんが話された「歳をとっても勉強はできます。でも、自分の生活をよくするためには、今の勉強が大切です」という言葉が私の中に今でも強く残っています。私は、この言葉を聞いて、今勉強をすること、学校に行ってみんなと学ぶことがとても大切なのだなと思いました。勉強は難しくても分からないときもあるけれど、これからは、友達と一緒に今しかできない勉強に一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

私は学んだ三つのことを心に刻み、私はこれからの人生を一步一步進んでいきます。

【11月下旬から12月までの主な行事等予定】

11月
29日（水）全校朝会

12月
1日（金）チャレンジテスト（4学年）
4日（月）持久走記録会（1日から延期）
6日（水）PTA あいさつ運動
5時間授業（～12日まで）
6日（水）標準学力調査 [国語・社会] (全学年)
7日（木）標準学力調査 [算数・理科] (全学年)
※1・2学年は、国語・算数のみ

8日（金）大掃除
13日（水）～19日（火）個人面談
13日（水）人権作文発表会 人権学習
14日（木）地域協働活動（1学年）
20日（水）地域協働活動（6学年）
代表委員会
22日（金）2学期終業式

※12月28・29日 学校閉庁日
緊急連絡先：学校教育課 ☎65-7038